

## メキシコ素形材子会社SMMの工場建設開始

－ 現地自動車産業の一大拠点グアナファト州に －

山陽特殊製鋼株式会社（社長 武田安夫 本社 兵庫県姫路市）のメキシコ素形材子会社SMM(Sanyo Special Steel Manufacturing de México, S.A. de C.V. / 社長 田中延幸)は、現地自動車産業の一大拠点となるグアナファト州アバソロ市内の工場建設予定地において、2016年4月5日に地鎮祭を行い、“鍛造－旋削－熱処理－貫製造プロセス”を備えた素形材工場の建設に着手しました。

このたび建設するSMMの素形材工場は、2017年9月の生産開始を予定しております。SMMでは、当社が製造した鋼材を使用して鍛造・旋削・熱処理加工を施した高品質の素形材製品を、現地で事業を展開する需要家の皆様に提供するとともに、他社との連携も含めた製造品種の拡充や高付加価値化に取り組んでまいります。



■ SMM工場の完成予想図

当社は、第9次中期経営計画（2014年度～2016年度）において、素形材事業をはじめとする非鋼材事業の強化を掲げており、素形材事業の規模については、2013年度の1.5倍に拡大する計画を実行しています。

最近では、2014年9月にタイにおいてベアリング用旋削リングの製造・販売を行うSSSP(Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.)を設立し、2015年12月に商業生産を開始しました。このたびのメキシコにおけるSMMの工場建設も、素形材事業の拡大に向けた施策として決定されたものです。

地鎮祭は、グアナファト州知事、アバソロ市長、在レオン日本国総領事をはじめとする現地要職の方々、工業団地内および取引先企業関係者、現地報道機関、当社関係者等、総勢100名近くが出席し、好天の中、盛大に執り行われました。

式典では、グアナファト州知事ほか現地要職者から現地におけるSMM事業への大きな期待が寄せられたほか、



■ 式典で挨拶する武田社長

当社社長の武田が、「当社中期経営計画の主要事業として大きな期待がかかるSMM事業にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。アバソロ市はメキシコにおける自動車産業の一大拠点であるグアナファト州にあり、若くて優秀な人材の確保やインフラ整備等、友好的な事業環境の提供が受けられることから進出先として選びました。SMMは、ベアリング用素形材分野では日系メーカーとして初めてとなる“鍛造－旋削－熱処理－貫製造プロセス”で高品質の素形材を提供し、グローバルに事業を展開されるお客様のニーズにお応えしていきます」と、SMM事業に対するご支援・ご尽力への謝辞と意気込みを述べました。

SMMの事業開始により、太平洋を挟んだ巨大市場に当社グループが素形材製品を提供する体制が整備され、素形材事業に関して、日本（サントクテック(株)）、中国（寧波山陽特殊鋼製品有限公司）、米国（Advanced Green Components, LLC）、インド（Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.）、タイ（SSSP）、メキシコ（SMM）の世界6極体制が整うこととなります。

当社は、成長市場におけるサプライチェーンの早期確立と素形材事業の拡大に向けた取り組みをグループの総力を挙げて推進し、グローバルに事業を展開する需要家のニーズにお応えしてまいります。